

Weekly Bulletin 2015-2016



RI会長
K.R. "ラビ" ラビンドラン

世界へのプレゼントになろう
静岡東ロータリークラブ

会長 / 杉山明喜雄 幹事 / 新聞桂子

事務局 / 静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場 / ホテルアソシア静岡 例会日 / 毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
杉山明喜雄

第 2729 回例会

平成 27 年 8 月 27 日 天候 曇

- 《司 会》 新聞桂子 君
- 《合 唱》 「手に手つないで」
「静岡東ロータリー」
- 《BGM》 「ABBA GOLD」
- 《ゲスト》 一般社団法人 静岡豊かさ支援協会
役員 安藤博文 様
- 《ビジター》 静岡南RC 森下登志美 君

《本日のお祝い》

お誕生日	結婚記念日
該当者なし	該当者なし

《会長挨拶要旨》

会員増強月間



皆さんこんにちは。本日は、ゲストとして一般社団法人静岡豊かさ支援協会役員の安藤博文様をお迎えして「フランス文化の豊かさ」についてお話をお伺いすることとなっておりますので後程、宜しくお願い致します。

また本日は、皆出席表彰、決算報告とプログラムに時間を要しますので、いつもより短縮して会長挨拶を申し上げます。

さて今月 8 月は、会員増強・新クラブ結成推進月間です。今月は会員増強フォーラムがございませんので会員増強についてお話をさせていただきます。当クラブは創立 57 年目になりますが 1990 年～1991 年(平成 2 年～平成 3 年)の 86 名をピークに、平成 4 年のバブル崩壊後からデフレ経済による経済停滞と歩調を合わせるように会員数が減少傾向となり、本年度は会員数 52 名のスタートです。年齢構成は 30 歳代 1 名、40 歳代 8 名、50 歳代 15 名、60 歳代 11 名、70 歳代 13 名、80

歳代 4 名で、女性会員が 5 名です。ちなみに日本のロータリークラブの平均会員数は 39 名で第 2620 地区の平均会員数は 38 名(静岡県 40 名、山梨県 30 名)となっています。

ロータリークラブは、職業、年齢、性別など多様な価値観をもった集まりであり、親睦と奉仕を志す仲間です。ロータリークラブのみならず、組織を維持し活性化していくためには、多様な価値観をもった新しい人財を増やしていくことも必要不可欠です。そして次の世代の組織を担っていく人財になってもらうことも重要なことです。野口ガバナーは「5 年後、10 年後のクラブをイメージしてみた時、現状のままで良いのでしょうか。」と問いかけています。次世代にクラブを引き継いでいくことは、現会員の私共の責務と考えます。

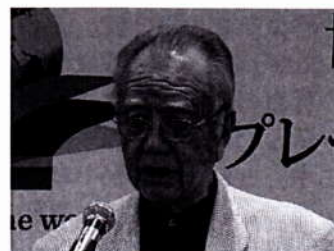
当クラブは 3 年後に 60 周年を迎えます。ここで皆さんに提案が有ります。60 周年に向けて会員数 60 名を目標にしたいと思います。本年度の会員増強グループの目標は、純増 8 名、会員数 60 名です。現在、新入会員 4 名が候補となっておりますので、あと 4 名です。「チャレンジ 60」を目標に、会員皆様のご協力を是非お願い申し上げます。

今年度は「ロータリーを楽しもう」をテーマに掲げております。会員増強は、決して目的ではなく結果ですので、会員の皆様が、ロータリーを楽しんでいることが、会員増強と退会防止に繋がるものと考えます。そのようなクラブ運営を実践して行きたいと考えますので宜しく申し上げます。

《決算報告》

足羽祐治 君

2014～2015 年度決算報告。



《来賓卓話》

一般社団法人静岡豊かさ支援協会 役員 安藤博文 様
『フランス文化の豊かさを探る』

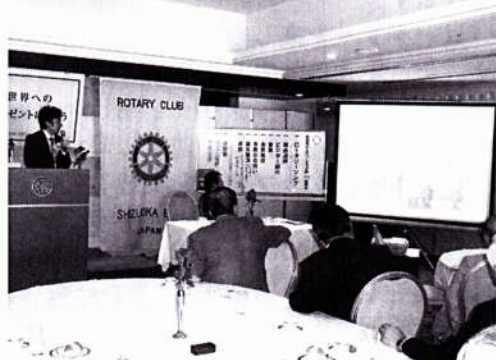


最近「バカンス」という言葉をよく聞くと、これはいわゆる日本の「夏休み」や休暇とどう違うのでしょうか。そこにフランスにおける生活の豊かさを

知るためのヒントがあります。フランスにおいてバカンスは制度化されたものです。世界恐慌後の1936年、労働者の福利厚生と国内の観光需要の拡大をねらい「マティニオン法」、いわゆる「バカンス法」が制定されました。当初は、すべての労働者に対し最低2週間の休暇の権利を、法によって保証するというものでした。戦後、保障される休暇の期間は徐々に伸び、現在では最低5週間となっています。たとえ経済不況であっても労働者にとってバカンスを「とらなければならない」状態にあると言えます。

バカンスには山や海といった自然の中に出かけるのが好まれますので、都市の人々がアルプス、地中海沿岸、大西洋沿岸に向かいます。7月上旬となると「民族大移動」が起こり、高速道路や鉄道の混雑が風物詩となっているのは、日本のお盆にそっくりです。

しかし休暇を取っても出かけられない家族もいます。そのような人々にもバカンスの機会を与えようと廉価で利用できるバカンス村を政府が整備したり(日本の休暇村も同様の趣旨で作られました)出かけられない子どもたちのために、古城を改装するなどして宿泊施設とした自然の家(コロニー・ドゥ・バカンス)が作られたりしました。後者の場合、高校生や師範学校生がバカンス中の研修生として、このコロニー・ドゥ・バカンスにやってくる子どもたちのレクリエーションを計画し、実施することが多いようです。それでも出かけられない、という場合に備えてパリ市ではセーヌ河畔の道路に砂を引き、ビーチにしてしまう「パリ・プラージュ」を設けて、憩いの場を作ったり、大規模な野外映画会を夏の間毎週開いたりしています。



それでは、フランス人のバカンスの傾向は、どのようなものでしょうか。TNS Sofre社による2009年の統計によれば、フランス人の理想のバカンスは「拘束されずに好きなことをする」「新しい文化を発見する」「近親者で集い楽しい時を過ごす」というものがあげられています。一方、何をして過ごすのか、という質問に対し「散歩」(24%)と「文化活動」(23%)が多く、ついで

で「休養」(15%)でした。日本人が休暇で行う「地元の美味しいものを味わう」「買い物」というのは、それぞれ8%、2%と少なくなっています。長期滞在型であることと、物やサービスがなくとも自分から楽しみを見つけていく、といったところからくる結果と考えることができるでしょう。誰と過ごすか、ということとなると、恋人・配偶者と(37%)、もしくは家族で(31%)、という結果が多く、友人と過ごすケース(19%)は相対的に少なくなっています。カップルまたは家族単位で動くことが多いことが、日常生活からもとって見られます。日常を離れる際 日本では友人同士ということが案外多いような気がしますが、いかがでしょうか。



このような長期の休暇を取ることは、なかなか日本では難しい話かもしれません。それでも、私たちがフランス的な過ごし方から得られるところは多いと考えられます。ものやサービスのあふれる日本であるだけに、お膳立てされたものの追体験をするのではなく、非日常の中から自分なりの小さな楽しみを見つける工夫をしながらゆったりとした時間を過ごす、そしてそれが近親者と、ということであれば、さらに豊かな休暇を得られるのではないのでしょうか。

《スマイル報告》

- 由利 浩志 君 皆出席表彰ありがとうございます。次の目標 25年目指してがんばります。
- 足羽 祐治 君 前回の合同例会の全員スマイルを忘れたので、遅ればせながらスマイルです。
- 勝山國太郎 君 39年皆出席表彰の栄に浴し、感謝してスマイルします。
- 伊藤洋一郎 君 本人かどうかを確かめて、知り合いには声をかけるようにしなければと反省をしました。理解できてないことが、人生には、たくさんあります。
- 富井 一矢 君 親睦グループの皆様と有意義で楽しいひと時を過ごす事ができたのでスマイルします。親睦グループの皆様ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
8/27	52(49)	38	11	-	-	-
8/20	52(50)	42	8	-	-	-
8/6	52(50)	43	7	5	2	96.00%

<会報作成：長島 秀親>